



みねのぶ

迎春



■発行日/令和3年1月1日/No.1425号

■発行/峰延農業協同組合

〒079-0192 美唄市字峰延37番地

Tel 0126(67)2111 Fax 0126(67)2793

ホームページアドレス <http://www.ja-minenobu.or.jp/>

■編集/総務課 ■印刷/空知印刷株式会社

## 令和3年の新春にあたり



代表理事組合長  
森川和徳

令和3年の新春にあたり、組合員皆様、ご家族皆様がご健勝で新年を迎えたことに心より御慶びを申し上げます。

また、関係機関の皆様には日頃よりご指導とご支援を頂いておりますことに、御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、1月20日横浜を出港したクルーズ船において2月3日以降乗客の新型コロナウイルスの感染が判明し、集団感染が発生し政府は次々に対応を迫られました。

その後、「さっぽろ雪まつり」が閉会したのちの2月13日以降、感染者が北海道内において急増しました。雪まつり以降、道外においても雪まつりの観光客が発症し始めました。特に道内ラスターが発生致しました。その後も緊急事態宣言、3密を避ける行動など様々な行政からの呼びかけ、注意喚起がなされ、一時の沈静化ののち、感染拡大が起これ、現在第3波の拡大期といわれています。この状況は容易ならざる事態であり、経済の循環が停滞を起こしています。

さて、昨年の営農を振り返りますと、小雪の冬を経て、春作業はほぼ順調に進捗いたしました。雪が少なかつたことから水稻の生育において灌溉水の不足が懸念されました。雨の降り方に偏りはありましたが、不足に陥らず、幼穂形成期から冷害危険期、出穗・開花期に至るまで天候は安定して穏やかであつたことから平年作以上の作柄で秋を迎えることができ、作況は、南空知は106と豊作になりました。低たんぱく米を期待して、刈り取りが進められましたが、平年並みの結果となりました。

また、昨年の営農を振り返りますと、小雪の冬を経て、春作業はほぼ順調に進捗いたしました。雪が少なかつたことから水稻の生育において灌溉水の不足が懸念されました。雨の降り方に偏りはありましたが、不足に陥らず、幼穂形成期から冷害危険期、出穗・開花期に至るまで天候は安定して穏やかであつたことから平年作以上の作柄で秋を迎えることができ、作況は、南空知は106と豊作になりました。低たんぱく米を期待して、刈り取りが進められましたが、平年並みの結果となりました。

一方大豆は、大豆施設を令和元年新設し、峰延地域の大豆の安定生産の要として操業を開始しました。一シーズンの操業経験で、効率的な稼働ができなかつたこと、不都合な工程など、反省と改善を加え、令和2年の操業を終えたところです。多目的施設の中には、従来の大豆の乾燥貯蔵施設は150haから200haが処理能力の限界でしたが、現在は500haを処理できる施設となりスケール及び調製能力も格段に向上しました。

また、秋まき小麦は施設の受け入れ重量からは、一昨年と遜色ないものでした。が、一昨年は小粒傾向でありましたが、品質面は良好でした。昨年は施設において1等調製に長時間を要しました。今年は圃場によつて違う生育ステージに合わせた追肥量と、施肥のタイミングを統一することによつて、天候による影響を最小限にすべく

峰延の麦の評価を上げていくことを力でいきたいと思います。また、播種時期についても、昨年は少し早く播く傾向にあることから播種時期を9月15日前後から25日ころまでを中途に少し遅くする方が収量を安定すると指摘をされました。今年からは、より一段

上の高収量、高品質へと、組合員皆さんと共に力と知恵を合わせたいと思います。

一方大豆は、大豆施設を令和元年新設し、峰延地域の大豆の安定生産の要として操業を開始しました。一シーズンの操業経験で、効率的な稼働ができなかつたこと、不都合な工程など、反省と改善を加え、令和2年の操業を終えたところです。多目的施設の中には、従来の大豆の乾燥貯蔵施設は150haから200haが処理能力の限界でしたが、現在は500haを処理できる施設となりスケール及び調製能力も格段に向上しました。

また、秋まき小麦は施設の受け入れ重量からは、一昨年と遜色ないものでした。が、一昨年は小粒傾向でありましたが、品質面は良好でした。昨年は施設において1等調製に長時間を要しました。今年は圃場によつて違う生育ステージに合わせた追肥量と、施肥のタイミングを統一することによつて、天候による影響を最小限にすべく

峰延の麦の評価を上げていくことを力でいきたいと思います。また、播種時期についても、昨年は少し早く播く傾向にあることから播種時期を9月15日前後から25日ころまでを中途に少し遅くする方が収量を安定すると指摘をされました。今年からは、より一段

上の高収量、高品質へと、組合員皆さんと共に力と知恵を合わせたいと思います。

令和元年に発覚した米における事件につきましては一日も早い解決を図れるよう努めてまいりました。再発を防ぐ取り組みとして、職場環境を明るく、情熱をもつて、地域と地域農業の進展に貢献する人材を育成する場となるように努めてまいりました。

令和元年に発覚した米における事件につきましては一日も早い解決を図れるよう努めてまいりました。再発を防ぐ取り組みとして、職場環境を明るく、情熱をもつて、地域と地域農業の進展に貢献する人材を育成する場となるように努めてまいりました。

職員の皆さん自らが知恵を出し合い一人一人が自覚して確認しあえる職員行動規範を作つていただきました。

至らぬことの多い私自身、自らを省みて「徳」の積み重ねの足りなさを自覚し、職員の皆さん将来到達する目標である職員像を誤りなく創造できるよう、毎月一度、朝礼を実施させていただき、思いを共有できるよう努めてまいりました。

令和3年、組合員皆さん、職員の皆さん、峰延農協とのかかわりもつてくださる峰延地域の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。本年も峰延農業協同組合の事業にご理解御協力をお願い申し上げ、年頭の当たつてのご挨拶とさせていただきます。令和3年、峰延農業協同組合をよろしくお願いいたします。



北海道農業協同組合中央会  
代表理事長 小野寺 俊幸

### 令和3年の年頭にあたり

新年あけましておめでとうございます。  
組合員並びに役職員の皆様には、コロナ禍にあってもその苦境にも負けず、日々営農に更に邁進されておられますこと存じます。  
また、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対しても、改めて敬意と感謝を申し上げる次第であります。

昨年の北海道農業は、米の作況指數が106の「良」、畑作物に

ついては収穫時期に一部地域に降雨による影響が見られたものの平年並み以上の結果となり、生乳も前年の実績を超える生産となり、地域、作目によつて違いはあります。が概ね良い出来秋を迎えることが出来たと感じております。

しかしながら、昨年は、新型コロナウイルスとの戦いが長期化し、

今までの日常とは大きく変化した1年であります。農業分野においても例外ではなく各種イベントの自粛・外食・中食の需要減少等の影響により、各作物の更なる需給緩和が懸念されているところであります。今後は作物ごとの実態を踏まえた、国産・道産農畜産物の需要喚起・消費拡大を図るとともに、

②農業には多様な働き方があるということの周知とより多くの方が農業に携わつていただき、将来的に農業を仕事の選択肢として考えてもらうこと（本業以外を「パラレルノーカー」と命名）

③日頃から道産農畜産物を食している道民の皆様に感謝を伝えること

新規あけましておめでとうござります。J A グループ北海道では、昨年より道民の皆様に対し北海道農業から行動を起こすことで、農業と人、農村と都市、生産者と消費者の関係の方を見つめなおすことを目的として「AG

D O （アグリアクション北海道）と題した情報発信を北海道の支援もいただき、スタートいたしました。

「AGRICATION! HOKKAIDO」は次の3つのテーマを伝えることを目的としております。  
①食料自給率に対する理解促進と行動変容の喚起  
②農業には多様な働き方があるということの周知とより多くの方が農業に携わつていただき、将来的に農業を仕事の選択肢として考えてもらうこと（本業以外を「パラレルノーカー」と命名）  
③日頃から道産農畜産物を食している道民の皆様に感謝を伝えること

本年は第29回JA北海道大会の実践最終年であることから、この取組みと協同の力を梃子として「農業所得の増大」「多様な担い手の確保・育成」「食と農でつながるサポートー1550万人づくり」の目標達成に向けて、実践活動を強化してまいります。

結びになりますが、本年は辛丑年です。牛は古くから酪農や農業で人間を助けてくれた大切な動物でした。大変な農作業を最後まで

手伝ってくれる働きぶりから、丑年は「我慢（耐える）」、「これから発展する前触れ」というようになります。ようご祈念申し上げ、年頭納年になると伝えられております。この謂われにあやかり、新型コロナウイルスの1日も早い克服と皆様のご健勝、本年が豊穰の年となりますようご祈念申し上げ、年頭納年になると伝えられております。この謂われにあやかり、新型コロナウイルスの1日も早い克服と皆様のご健勝、本年が豊穰の年となりますようご祈念申し上げ、年頭納年になると伝えられております。

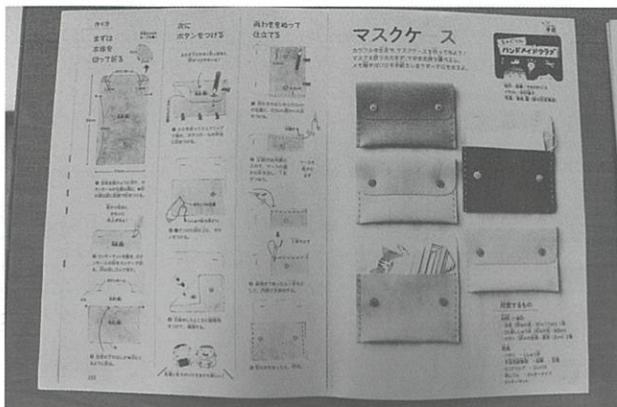


理 事 代 表 理 事 組 合 長  
専 務 理 事 常 務 理 事  
監 事 代 表 監 事  
員 外 監 事

安 佐 高 山 橋 河 北 望 吉 渡 安 伊 森 川  
外 職 員 一 同 沢 藤 田 本 本 野 月 村 辺 達 藤 遼  
孝 彦 和 昌 和 博 雅 俊 和 德  
同 孝 彦 仁 宏 秀 視 豊 忠 実 進 德

## J A 女性部が寄贈する マスクケースを自作

た部員と合わせて12人の部員で55個を作成します。



皆さんに配付したマスクケースの作り方

12月8日、JA女性部（吉村俊子部長）の皆さん9名がボランティア活動の一環で、マスクケースを自作し美唄市恵風園・恵祥園に寄贈しようと、材料の布等の配布に当JA三階に集まりました。この日は当初、女性セミナー開催予定でしたが、新型コロナウィルス感染防止のために開催中止になりました。

決まった寸法のマスクケースを作るための生地と糸を選び、1月22日の寄贈予定日に向けて自宅で作るのは、後日材料を受取りにきました。



選んだ材料の布等を裁断



用意された色んな色の布と糸の中から選びます

小山田 廣さん  
(89歳) 12月14日  
美唄市字峰延6784番地

荒井 リエさん  
(92歳) 11月27日  
美唄市光珠内一区

## -報徳-

### 分外の結構を分内に入れるな

小田原藩士が来て、  
「今日思いも寄らず結構な仰せをこうむりまして、  
ありがたく存じております。」といった。翁は言  
われた。そなたが今の一言を、生涯一日のように忘れないでおれば、ますます立身し、富み栄えることは疑いない。そなたが今日の心を分度と定め、土台として、この土台を踏みたがえず生涯を終わるならば、それは仁であり忠であり孝であり、どこまでよい成果を上

げるかわからぬほどだ。およそ人々が成功をして、たちまち失敗することを当たり前のことにして、その結構を土台にして踏みつけてゆくからだ。初めの違いがこうだから、末は千里の違いになることは必然だ。人々の身代も同様であつて、分限の外に入つてくるものを分内に入れずに、別に蓄えておくならば、臨時の物入り、不慮の入用などに差し支えるということはないはずだ。分外の損というのは、分外の利益を分外として、分内に入れないでけば、分外の損失はないはずだ。分外の損とは、分外の利益を分内に入れるからであるのだ。わが道が分度を定めることがあるのだ。わが道が分度を定めることを大本とするのは、こういうわけなのだ。分度がひとつたび定まれば、譲り施す徳功が自然とできてゆくはずだ。そなたが今日、思ひ寄らず結構に仰せつけられてあれば、譲り存じますといった一言は、生涯忘れてはならない。これは私がそなたのために祈つてやまないところだ。

## 2021年道産米「生産の目安」

### 過去最大 前年比1・2%減

12月15日、北海道やJA北海道

中央会などで構成する北海道農業再生協議会水田部会は2021年産北海道主食用米の「生産の目安」を52万7639トント決めました。前年産の「生産の目安」に比べ1・2%

(6421トント) 下回り、面積は9万5881haで前年産に比べ1・6% (1521ha) 減となります。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外食需要減等で在庫が増加している状況で、農林水産省が算出した全国の2021年産米の目標は693万トント、前年目標を最大で3・3% (24万トント) 下回っていますが、道産米の高い需要に応えるべく「生産の目安」を全国目標より緩くしてきた傾向を踏襲した形となりました。

加工用など主食用以外を加えた水稻全体の「生産の目安」は58万1785トント (前年比0・8%減) 、10万5769ha (前年比1・2%減) と設定しました。

今後は各地域協議会に算定・提示を呼び掛けし、関係機関・団体と一体で目安に即した米生産を進めいく方針としています。

## 生活店舗の還元セール大盛況

生活店舗の還元セールは、年に

4回行われていて、12月の還元セールの商品引き渡し日は17日、18日です。

商品引き渡しは商品庫にて行われ終日、車列ができてきました。



商品庫で行われた商品の引き渡しに並ぶ車列

- ・數藤 錬（営農販売課）
- ・奥山翔平（営農販売課）
- ・宮本亜加理（総務課）

### 第一種衛生管理者試験に合格

労働安全衛生法において定められている、労働条件、労働環境の衛生的改善と疾病の予防処置を担当し事業場の衛生全般を管理する国家資格です。當時50人以上の労働者を使用する事業場において選任が法で義務付けられています。

合格率は44～47%です。当JAの合格者は1人で次のとおりです。

合格おめでとうございます。

・新田真代（総務課）

### 役員報酬審議会を開催

J A役員の報酬額は総会の付議事項で毎年開催する通常総会に提案し承認を受けることになります。また、総会に提案する役員報酬の原案は組合長が役員報酬審議会に諮問し、役員報酬審議会が検討を行い組合長に答申し総会に議案を提出しています。

役員改選が行われ次の通り選任されました。（敬省略）

佐藤勝彦 目黒泰行 尾高恵太

副部長 仲河守

組織専門委員会 星野功平 大槻和洋

監理事 高山大毅

です。  
12月21日、一昨年就任した役員報酬審議会委員による第1回役員報酬審議会が招集され、令和3年3月に開催の通常総会に提案する令和3年度の役員報酬について森川組合長から諮問されました。今後は、役員報酬審議会で検討を重ね、通常総会に提案する原案を答申することになります。

### JAみねのぶ青年部 第73回通常総会開催する

12月23日、当JA青年部の第73回通常総会が開催されました。

本総会はコロナ禍のため部員は集合せず書面議決にて審議され、令和2年度の事業活動報告と収支決算、令和3年度の事業活動方針と事業計画、収支予算の各案等が原案通り承認可決されました。

役員改選が行われ次の通り選任されました。（敬省略）

佐藤勝彦 目黒泰行 尾高恵太

副部長 仲河守

組織専門委員会 星野功平 大槻和洋

監理事 高山大毅

J A北海道中央会が令和2年度の基本資格（特級・上級・中級）の合格者を発表しました。当JAは中級の合格者が3人いて次の通りです。合格おめでとうございます。中級の合格率は57・2%でした。

### ◇中級（3人）

II 職員の採用 II



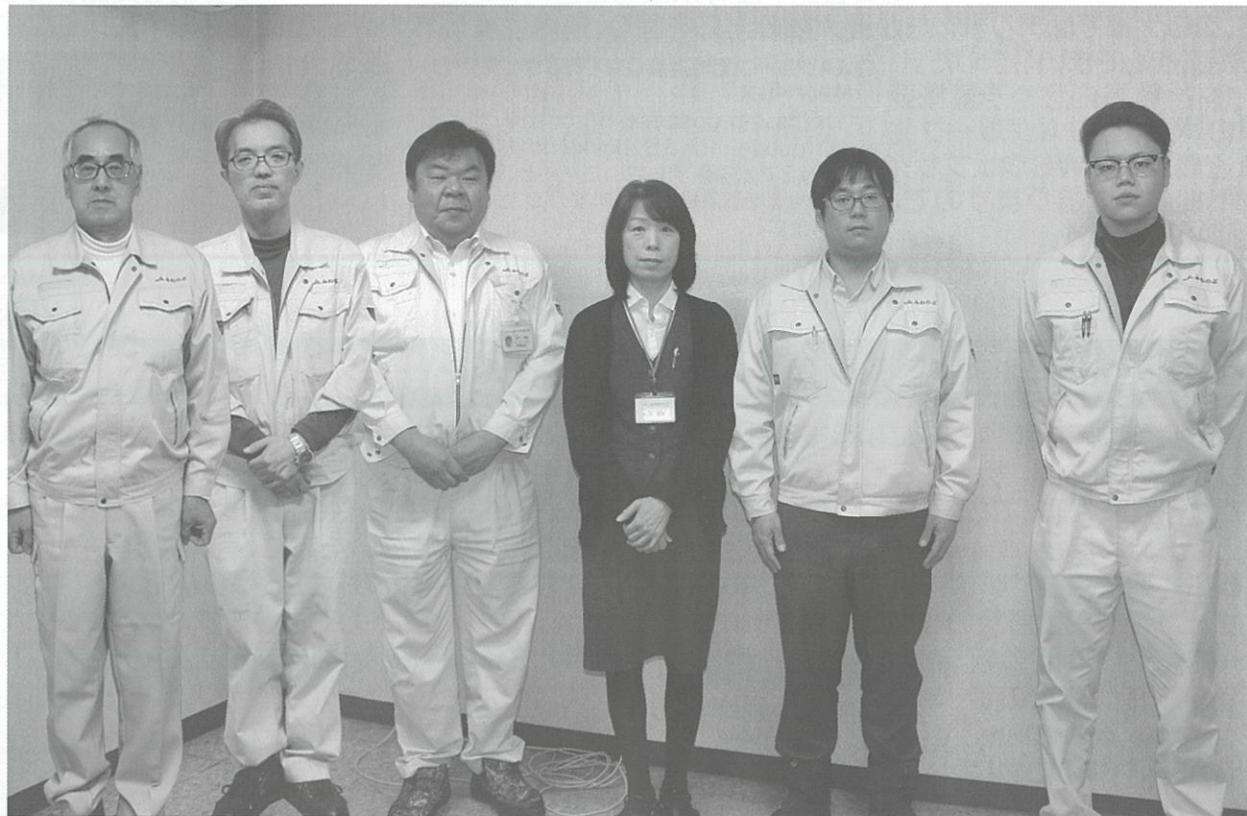
# 職員紹介（正職員、準職員）

6回目

当JAの職員を部署毎に紹介します。

## 販売企画課

白米や野菜等を小売店や直接販売により出荷し、生産者が丹精込めて作った農産物を多くの消費者にお届けする“つなぐ”業務を担っています。販売代金の入金確認と精算払い等の経理を行っています。



菊池 勝博 中野 勝之 田中 和憲 柿崎 直美 (課長補佐)佐藤 和登 高倉 龍成

よりぞうが教える  
JAネットバンクの使い方

よりぞうが教える  
JAネットバンクの使い方

JAネットバンクでご利用いただける  
サービスを紹介します!

- マネーフォワード
- Pay-easy
- 振込
- 定期貯金
- ローン繰上返済

©よりぞう

# JAグループ通信 54

// JA北海道中央会



JAグループ北海道は、来年度以降においても、組合員の皆様が希望を持って営農できるよう、要請運動を展開してまいりました。9月末の概算要求決定前までの運動に加え、10月からはコロナ禍で需要が減少した作物への対策を求める運動を実施し、11月からは令和3年度農業関係予算や補正予算確保に向け、与党農林幹部や道内選出国会議員、農林水産省に対して働きかけを行いました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、例年どおりの要請とはなりませんでしたが、感染防止対策を講じた上での上京運動や議員会館や農林水産省と道内各地区をWEBで繋ぎ要請を実施するなど、コロナ禍ではありましたが最大限の対応を図り、道内生産現場の課題を伝えその解決策について提案をしてまいりました。

今後、要請内容や予算概要等の詳細は、JAグループ北海道農政NEWSウェブサイトに掲載しておりますので、ご確認願います。

○ JAグループ北海道農政NEWSウェブサイト

HPアドレス

<https://ja-dosanko.jp/housei/>

ID:nousei PASS:hokkaido

○ LINEで友達登録していただくと、情勢等の更新情報をご連絡いたしますので、是非、登録願います。



## JA北海道信連



還付金詐欺等の特殊詐欺による被害は、依然として減っていない状況にあります。JAバンクでは、窓口・ATMでの声掛けを継続して被害防止に努めるほか、北海道警察と連携した啓発活動にも取り組んでいます。10月～12月の3か月間、STVラジオ番組の中に準レギュラーコーナーを設け、道警の担当者から特殊詐欺の手口や注意するポイント、日頃からの備えについてリスナーにお知らせしました。



## ホクレン



ホクレンは、コーポレートメッセージ「つくる人を幸せに、食べる人を笑顔に」に込めた想いを伝えるオリジナルアニメーション「from North Field(フォーム・ノース・フィールド)」の第2弾を制作、特設サイト(<https://www.from-north-field.jp/>)などで公開を始めました。5歳の少年を主人公に、道内の酪農家から都会の食卓までの「生乳の旅」を分かりやすく紹介しています。



## JA共済連北海道

JA共済では、「特定重度疾病共済」資料請求キャンペーンを実施しております。JA共済ホームページから「特定重度疾病共済」の資料をご請求いただいた方に、有村架純さん・浜辺美波さんが表紙の「オリジナルA5ノート」をmoreなくプレゼントしております。キャンペーンは令和3年3月10日(水)までです。この機会にJA共済のホームページにアクセスいただけますようお待ちしております!

JA共済ホームページ  
アドレス

<https://www.ja-kyosai.or.jp/>



## JA北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るために、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。プレゼント付アンケートのコーナーもあり、1月末まで募集しております。

是非、JA北海道厚生連のホームページをご覧いただきアンケートへのご協力ををお願い致します。



JAグループ北海道の連合会・中央会の活動内容を紹介します。  
各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

大地がひとを強くする。

**AGRIACTION!**  
HOKKAIDO